5カ所すべてをまわって北大グッズをゲット！

北大縦断シールラリー

6月7日(土) 10:00〜17:00

5研究所・センター合同一般公開

低温科学研究所／電子科学研究所／遺伝子病制御研究所
スラブ・ユーラシア研究センター／創成研究機構

あれも！これも!?
スラブ・ユーラシア展

「スラブ・ユーラシア」と聞いてどんなイメージを抱きますか？
最近のニュースを騒がすあの国も、オリンピックの舞台も、
美しい世界遺産も、みんなに人気のかわいいキャラクターも、
「スラブ・ユーラシア」なんです！！

モスクワからソチへ
ロシア2度目のオリンピック

スラブ・ユーラシアの世界遺産

こどものためのロシア・東欧文学
DVD上映
「チェブラーシカ」
「ロシア版クマのぷーさん」
ほか

写真で観るウクライナ危機

6月7日(土)・8日(日)

10:00〜17:00 第56回北大祭期間中

スラブ・ユーラシア研究センター4階

SRC

入場無料

6月7日（土）
午後2時カラッス～

SCIENCE TALK
サイエンストーク

14:00～14:30

チェルノブイリのいま、そして未来へ
～一緒に考えましょう～

家田 修
（スラブ･ユーラシア研究センター長）

福島原発事故でふたたび注目されたのがチェルノブイリです。チェルノブイリはロシア、ベラルーシ、ウクライナの国境地帯に位置します。この地帯がポレシエと呼ばれ、スラブ人の故地であることはほとんど知られていません。日本で言えば奈良や大和に相当する「いにしえの地」です。「チェルノブイリ＝原発」ではないのです。福島と同様に、そこには豊かな自然と歴史と文化があるのです。

15:00～15:30

ポーランドとアイヌ
～未知なる世界の奇跡の出会い～

井上 紘一
（北海道大学名誉教授）

1903年9月某日、道庁脇の道を散策していたと推定されるブロニスワフ・ピウスツキ（1886~1918）は、リトワニアに生まれ、地球を「ほぼ」一周しパリで没した文化人類学者です。彼の数奇な生涯と仕事は、1980年代以降に推進された国際研究協力の結果、全体像がようやく見えてきました。昨年10月には彼の記念碑が白老のアイヌ民族博物館に建立されました。

入場無料！
申込不要！

迷わず来てね！

スラブ･ユーラシア研究センター4階までのアクセス

A. メインストリートから

W棟正面玄関を入って右手の法学部方面へ進み、突き当たりを左に曲がり、しばらく進みます。

B. 正門方面から

附属図書館の正面玄関を入って直進し、渡り廊下を通ってW棟に接続します。

↓

階段で**2階**へ上がり、左手に進むと、当センターに接続します。
※他の階からは接続していませんのでご注意下さい。
階段またはエレベーターで**4階**へ上がって下さい。

※**「北大縦断シールラリー」**の他の研究所からはおよそ800m～2km（徒歩で10分～20分以上）離れています。お時間に余裕を持ってお越し下さい。

北海道大学スラブ･ユーラシア研究センター
2014年4月1日に「スラブ研究センター」から改称しました

お問い合わせ先　〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目
TEL 011-716-2111（代表） 011-706-2388（直通）
FAX 011-706-4952　http://src-h.slav.hokudai.ac.jp/